



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社SIGグループ 上場取引所 東
コード番号 4386 URL <https://www.sig-group.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 純生
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 八田 英伸 TEL 03-5213-4580
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年11月27日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,430	34.5	183	66.5	146	△22.0	64	△55.5
2023年3月期第2四半期	2,550	8.9	110	△19.7	187	8.7	145	12.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 61百万円 (△57.9%) 2023年3月期第2四半期 145百万円 (14.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	11.46	11.38
2023年3月期第2四半期	25.81	25.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,196	1,934	46.1
2023年3月期	4,277	1,897	44.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,934百万円 2023年3月期 1,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
2024年3月期	—	7.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	20.0	315	△19.6	360	△21.3	220	△27.1	38.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	5,929,980株	2023年3月期	5,929,980株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	274,210株	2023年3月期	284,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	5,648,770株	2023年3月期2Q	5,628,423株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けながらも徐々に経済社会活動の制限が緩和され、景気は持ち直しの動きがみられました。しかしながら、地政学的リスクの高まりや物価上昇、供給面での制約、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れ等の懸念により、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループが属する情報サービス産業においては、昨年からのテレワーク環境の整備・強化に向けた需要が一巡した一方、業績悪化を理由に抑制が続いていた企業のICT投資が再開され、特に事業の強化や変革を推進するDX（デジタル・トランスフォーメーション）関連の需要が増加しております。

このような環境の中、当社グループのシステム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の各分野において、人材の確保が難しい状況の中、受注単価アップや高利益率案件等へのシフトに注力した結果、売上高は好調に推移しました。

システム開発売上高は、公共系の政令都市向け人事給与システムの保守・改修などの既存案件の安定需要と政令都市向け国保標準システム導入の新規案件、サービス系の仮想移動体通信事業者向けシステム開発、DX請負案件の受注や、物流・その他サービス系既存ユーザのシステム開発の安定需要があり堅調に推移しました。また、前期末に連結子会社化した株式会社アクト・インフォメーション・サービスの売上高が当第2四半期連結累計期間の増収に寄与した結果、2,603,124千円（前年同期比37.5%増）となりました。

インフラ・セキュリティサービス売上高は、セキュリティ系では高付加価値案件への要員ローテーションや既存案件の単価アップ、サービス系ではAWSクラウド案件やシステム構築案件等により、827,225千円（同25.8%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,430,349千円（前年同期比34.5%増）となりました。損益面では、営業利益183,384千円（同66.5%増）、持分法適用関連会社の決算報告に基づき、当第2四半期において一時的な持分法による投資損失82,189千円を計上した結果、経常利益146,447千円（同22.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益64,711千円（同55.5%減）となりました。

なお、当社グループは、システム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は2,353,584千円であり、前連結会計年度末に比べ20,038千円減少しました。主な要因は、現金及び預金が109,207千円、仕掛品が10,440千円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が56,933千円、未収還付消費税等が93,926千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は1,842,512千円であり、前連結会計年度末に比べ61,264千円減少しました。主な要因は、のれんが37,674千円、関係会社株式が52,673千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は1,370,902千円であり、前連結会計年度末に比べ52,032千円減少しました。主な要因は、賞与引当金が17,665千円増加した一方、買掛金が40,329千円、1年内返済予定の長期借入金が13,720千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は890,280千円であり、前連結会計年度末に比べ66,382千円減少しました。主な要因は、退職給付に係る負債が13,323千円増加した一方、長期借入金が77,496千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,934,913千円であり、前連結会計年度末に比べ37,111千円増加しました。主な要因は、利益剰余金が34,156千円増加した一方、自己株式が6,447千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.1%（前連結会計年度末は44.4%）となっております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ109,207千円増加し、1,246,893千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は284,265千円(前年同期は3,180千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益146,447千円、持分法による投資損失34,213千円、売上債権の減少56,933千円、減価償却費20,132千円、のれん償却額37,674千円、法人税等の還付額49,124千円等があった一方、棚卸資産の増加11,167千円、仕入債務の減少40,329千円、法人税等の支払額120,011千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は42,561千円(前年同期は7,904千円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出29,249千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は132,496千円(前年同期は164,386千円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出91,216千円、配当金の支払額36,694千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績につきましては、2023年5月12日付の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績値の差異につきましては、本日公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,177,686	1,286,893
受取手形、売掛金及び契約資産	1,004,553	947,619
商品	2,561	3,274
仕掛品	557	10,997
その他	188,264	104,799
流動資産合計	2,373,622	2,353,584
固定資産		
有形固定資産	173,376	167,332
無形固定資産		
のれん	493,629	455,955
その他	76,441	97,334
無形固定資産合計	570,070	553,289
投資その他の資産		
関係会社株式	717,278	664,605
その他	453,051	467,284
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	1,160,329	1,121,889
固定資産合計	1,903,776	1,842,512
資産合計	4,277,399	4,196,096
負債の部		
流動負債		
買掛金	234,524	194,195
短期借入金	310,000	310,000
1年内返済予定の長期借入金	168,712	154,992
未払法人税等	94,517	88,211
賞与引当金	141,887	159,553
リース債務	6,506	5,148
その他	466,785	458,801
流動負債合計	1,422,934	1,370,902
固定負債		
長期借入金	624,566	547,070
退職給付に係る負債	252,866	266,190
リース債務	8,181	6,109
その他	71,048	70,911
固定負債合計	956,663	890,280
負債合計	2,379,597	2,261,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,783	507,783
資本剰余金	368,736	368,736
利益剰余金	1,195,583	1,229,739
自己株式	△174,700	△168,253
株主資本合計	1,897,402	1,938,006
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	399	△3,092
その他の包括利益累計額合計	399	△3,092
純資産合計	1,897,801	1,934,913
負債純資産合計	4,277,399	4,196,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,550,473	3,430,349
売上原価	1,989,472	2,692,826
売上総利益	561,000	737,522
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	150,531	167,068
賞与及び賞与引当金繰入額	25,591	30,380
退職給付費用	2,672	2,832
貸倒引当金繰入額	△30	—
その他	272,095	353,856
販売費及び一般管理費合計	450,859	554,138
営業利益	110,140	183,384
営業外収益		
受取利息及び配当金	31	7
持分法による投資利益	79,009	—
助成金収入	1,500	1,872
還付加算金	263	658
その他	352	53
営業外収益合計	81,156	2,591
営業外費用		
支払利息	2,154	4,120
支払手数料	1,156	1,156
持分法による投資損失	—	34,213
その他	137	37
営業外費用合計	3,448	39,527
経常利益	187,848	146,447
税金等調整前四半期純利益	187,848	146,447
法人税、住民税及び事業税	46,517	88,357
法人税等調整額	△3,961	△6,620
法人税等合計	42,555	81,736
四半期純利益	145,293	64,711
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,293	64,711

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	145,293	64,711
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	75	△3,491
その他の包括利益合計	75	△3,491
四半期包括利益	145,368	61,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,368	61,219
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	187,848	146,447
減価償却費	20,358	20,132
のれん償却額	5,635	37,674
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,078	17,665
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,112	8,029
受取利息及び受取配当金	△31	△7
支払利息	2,154	4,120
支払手数料	1,156	2,313
持分法による投資損益 (△は益)	△79,009	34,213
売上債権の増減額 (△は増加)	19,324	56,933
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△15,573	△11,167
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,694	△40,329
その他	△16,818	81,372
小計	109,354	357,400
利息及び配当金の受取額	30	6
利息の支払額	△2,164	△4,127
法人税等の還付額	437	49,124
法人税等の支払額	△105,977	△120,011
その他	1,500	1,872
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,180	284,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,753	△5,823
無形固定資産の取得による支出	△562	△29,249
敷金及び保証金の差入による支出	△365	—
敷金及び保証金の回収による収入	52	—
その他	17,724	△7,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,904	△42,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△55,002	△91,216
株式の発行による収入	89	—
配当金の支払額	△61,947	△36,694
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△45,000	—
その他	△2,526	△4,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,386	△132,496
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△169,109	109,207
現金及び現金同等物の期首残高	1,094,808	1,137,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	925,698	1,246,893

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは、システム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは、システム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。